

地域懇談会



町民の皆さんと町長が膝を交えて意見交換を行なう地域懇談会「町長と語るうまちかどミーティング」が平成22年11月14日から平成23年2月1日までの間、27自治会、20会場で開催されました。20会場で開かれた地域懇談会には、延べ332名の町民の皆さんが参加され、町長と膝を交えながら意見交換を行いました。その中から、意見・回答を抜粋してお知らせします。

平成22年度地域懇談会は、昨年度まで実施していた町政懇談会を新たな形に変え、町民の皆さんと町長が膝を交えて意見交換を行なう「町長と語るうまちかどミーティング」として開催しました。また、地域担当職員制度を活用し、地域の声に素早く対応するため、地域懇談会と地域担当職員制度を連動させながら開催し、地域が抱える課題、町政への意見・提言など様々な意見交換を行ないました。

その主な内容について、お知らせいたします。

【意見・提言一覧】

健康で安心して暮らせるまちづくりに関する意見・提言	8件
福祉の充実	1件
健康の維持増進	1件
潤いある環境を創出するまちづくりに関する意見・提言	3件
自然環境の保全	3件
快適で暮らしやすいまちづくりに関する意見・提言	15件
社会基盤の向上	7件
利便性の向上	3件
安全で安心して暮らせるまちづくりに関する意見・提言	3件
安全の確保	3件

力強く安定した産業づくりに関する意見・提言

農業の振興	27件
林業の振興	1件
観光の振興	8件
雇用環境の充実	2件
学校・家庭・地域社会が一体となったまちづくりに関する意見・提言	8件
幼・小・中教育の充実	8件
自立したまちづくりに関する意見・提言	21件
協働のまちづくり	21件
豊かな行財政の確立	12件

【主な質問・意見】

各会場で次のような意見や提言が出されました。

福祉の充実について

Q 地域で車の運転ができない高齢者は、バスを利用して食糧品など、生活用品を買いに行っています。バスの乗降も困難な高齢者にとって、本来、楽しさも伴うはずの買い物が苦痛になってきており、バス内での事故も起きている現状を踏まえ郊外地における移動販売車について提案するものです。ぜひとも、「高齢者にやさしいまちづくり」を願うものです。

A 地域から店がなくなってきたり、町も真剣に検討しています。国の助成制度も策定される方向であり、はっきりと方向性がわかりしだい、すぐに町も動き出したいと考えています。実現に向けては、商工業者、農協、生協なども調整しなければならぬと考えています。



Q 高齢化が進んでくるとインフラ整備が進んでも、そのもとを取る力がなくなってくる。公営住宅の使用料も料金改定となり、年金で公営住宅に入れなくなってくる人も増えてくる。公営住宅の跡地にあいあい荘のような高齢者向けの集団住宅を建設してもらえ

ば、地域としても安心できる。夢実現のために頑張ってください。

A 数年後には現実的な話になってくると思います。ただ、建設にお金がかかるため、国の補助金等を活用して、町の持ち出しが少なくすむような方法を検討し、そのための準備はしておきたいと思

自然環境の保全について

Q 近頃の新冠川には外来魚（ブルーワン、チートラなど）が多くなっているように感じられます。いったいどのあたりに、どの種類の外来魚が、どのくらい生息しているのか調査することはできないのでしょうか。また在来魚にとって外来魚は外敵であるため、生態系を破壊しかねないことから駆除することも考えていかなければならないのでは。

A 新冠川は北海道が管理しているので、北海道とも協議し、検討してみたいと思います。

社会基盤の向上について

Q 高規格道路の進み具合について教えてください。

A 平成23年度中に門別本町まで開通すると聞いております。そ

の後、厚賀町まで着工し、その目処がついたところで新冠方面も着手するのだと思いますが、現時点においてはいつ頃開通になるのかはわかりません。厚賀町まで開通すると相当利便性が上がると考え

Q 国道235号線、節婦町地区野村宅から高江地区齊藤宅まで歩道が設置されていないために、非常に危険な思いをして新冠町市街地に行っている現状にあります。大きな事故が起こる前に歩道を設置して頂きたい。

A 歩道設置の陳情は10年来行っています。難しいとのことですが、近年は、歩道設置というより、路肩の拡幅を北海道開発局に要望しているところであり

利便性の向上について

Q 地域公共交通計画について聞かせてほしい。

A 新冠地区について、デマンド方式で2便試験運行しています。1便は、従前と同じく国道まで下って厚賀から静内方面へ行く便で、2便は日高病院に向けた別便の時刻に合わせた便を新たに試験運行しております。4月からは本格運行となりますが、現在は予約



登録制で運行中です。スクールバス、健康推進バス、新冠沢の道南バスについて、どうするかを検討中で、混乗についても検討しております。

スクールバス混乗が可能となれば、直接新冠町に降りられるようになります。健康推進バスについても目的が温泉、診療所行きのみとされているので、これの改善も検討しております。例えば、新冠地区のバスを廃止して、健康推進バスをもう一台走らせるといった案もありますが、新冠町と日高町間で長年の間、新冠路線を運行してきた経過から、日高町とも協議しなければならず、簡単にはいかないというところはご理解ください。

Q 光のみの構想について、新冠町はどうなっていますか？

A 実態として、市街地の国道沿いの地区で、募集がほぼゼロでした。管内でも国道沿いでの光未設置は当町のみとなっています。試算によると8億から9億円かかり、国などからの支援も今はありません。町の方針として、技術革新が進んでいる中、次世代の携帯電話や衛星など今後どうなるかデータを集め調べて行くこととしているほか、行政としてどういった活用方法があるのかワーキンググループを設置し、先進地視察やデータ収集をおこなっております。

農業の振興について

Q 後継者の問題も地域として大きな課題といえます。こういった問題をクリアしていかなければ、町は良くなりません。

A 地域おこし協力隊（農業支援員）の募集をホームページで行なっています。募集期間は2月一杯で、人数は3名。太陽の教員住宅を利用し、国の制度により年額350万まで特別交付税で支援する制度です。

町としては3段階の支援を予定しており、①農業体験期間を与える、②新規就農候補者としての実践機会の提供、③新規就農に向け